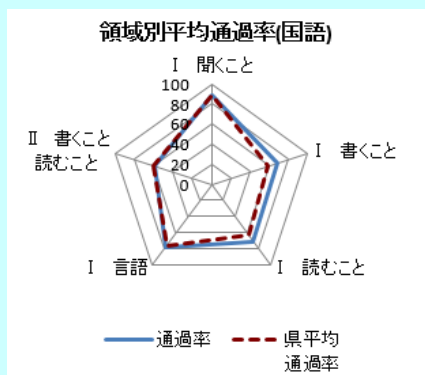
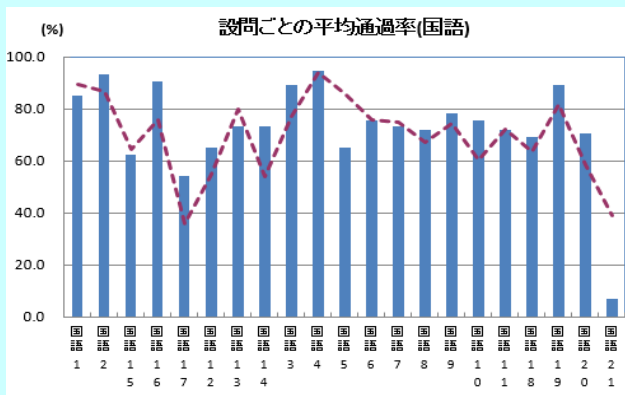


「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校72.7%, 県69.7%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



本年度の結果について

○全体的な傾向について

タイプIは75.9%, タイプIIは58.8%, 教科全体では72.7%の通過率となっている。この結果から、教科で学習した知識・技能を活用する力に課題があると思われる。また、基本的・基礎的な内容についても、「書くこと」の「読みやすく分かりやすい文章にすること」(54.1%)や「伝えたい事実を明確に書くこと」(62.2%)のように、定着が不十分だと思われる領域がある。

○昨年度の課題への取組への成果

昨年度は、「書くこと」の目的に応じて情報を読み取り、根拠を明確にして書くこと(46.9%)に課題がみられた。そこで、様々な資料から必要な情報を読み取り、記述する問題に取り組み時間を設定することで、図表やグラフから必要な情報を得て記述すること(89.2%)については一定の成果が見られた。しかし、複数の文章を読み、文章に表れているものの見方や考え方に関する情報を取り出して自分の考えを書くことについては、引き続き取組が必要であると考えられる。

重点課題

【課題1】

タイプII「書くこと・読むこと」において、根拠を挙げて自分の考えを書くことはできているが、詩の共通点を正しく指摘できておらず、複数の文章を比較し分析して読むことに課題がみられる。(通過率6.8%)

【課題2】

タイプI「書くこと」において、長い一文を二文に分けるに当たって、二文目に主語を適切に補って書くことができておらず、叙述の仕方の確認に課題がみられる。(54.1%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】

複数の文章を読み比べ、共通点や相違点を整理する授業を設定するとともに、長期休暇や週末課題において複数の資料を読み比べる演習を行う。

【課題2】

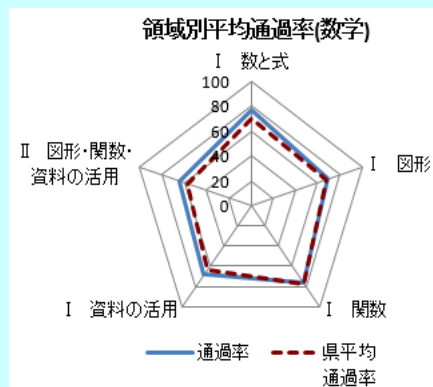
自分が書いた文章を見直す際に、一文の長さという点についても吟味させるようにする。また、読む・書く・話す場面で主語を意識させる場を設定する。さらに、一文が長くわかりにくい文を適切に推敲する演習を行う。

| 【課題1】 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|----|-----|-----|-----|----------|--------------|--------------|
| 学年・方法 | | | | | 2年 単元テスト | 2年 H27 基礎・基本 | 2年 H28 基礎・基本 |
| 目標値 | | | | | 50% | 60% | 65% |
| 実施後数値 | | | | | | | |

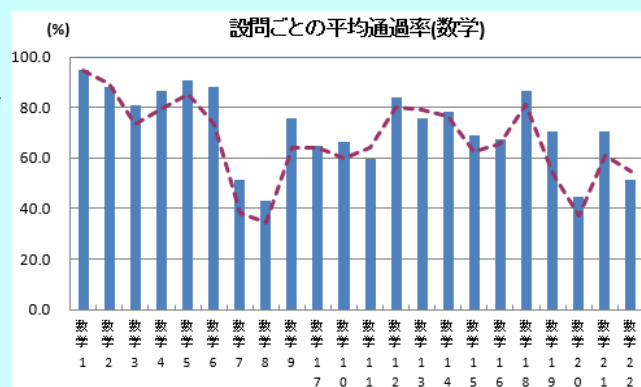
| 【課題2】 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|----|-----|-----|-----|--------------|------------------------------|---------------|
| 学年・方法 | | | | | 2年 H27 基礎・基本 | 2年 H28 基礎・基本 1年 H28 基礎・基本 | 1年 H27 年基礎・基本 |
| 目標値 | | | | | 65% | 70% 65% | 70% |
| 実施後数値 | | | | | | | |

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校72.1%, 県66.8%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



本年度の結果について

○全体的な傾向について
 本年度の結果において、タイプⅠは 74.3%、タイプⅡは 64.6%、教科全体では 72.1%の通過率となっている。領域別にみても、通過率が 80%を超えた領域がなく、基礎的・基本的な内容から定着を図らなければならないと考える。

○昨年度の課題への取組の成果と課題
 昨年度は①資料の代表値を理解し、傾向を捉えて判断した理由を正しく選択する問題、②関数の特徴を記述する問題において課題が見られた。①については資料の活用のタイプⅠでは 68.2%、タイプⅡの知識・理解は 70.3%と基本的事項の理解は改善が見られたが、資料の傾向を読み取り説明する問題では 51.4%と今後も改善が必要である。②については関数のタイプⅠの通過率 77.0%と大きく改善された。

重点課題

【課題 1】

割合を含む数量の関係を文字式で表すことができていなかった (通過率 51.4, 43.2%)。比較量は (基準量) × (割合) で求められることを理解しておらず、加減で解答している生徒が多かった。

【課題 2】

資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができていなかった (通過率 51.4%)。ヒストグラムの特徴を読み取ったり、代表値などを適切に用いたりして、根拠を明確にした説明になっていなかった。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題 1】

連立方程式などの問題で、割合の文章題に取り組む中で、割合を含む数量の関係を文字式で表せるようにさせる。値段や生徒数の増減、食塩水の問題など様々な割合に取り組み、比較量を (基準量) × (割合) で求めることを理解させたい。

【課題 2】

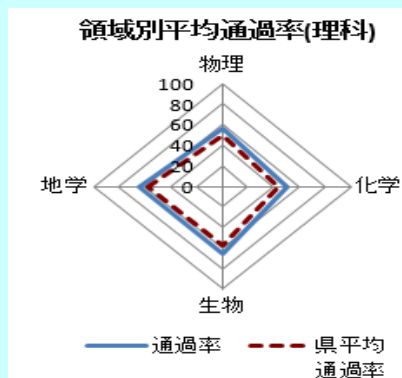
証明などの単元を利用して、根拠をもとに説明する重要性を理解させたい。授業などでも根拠を基にした発言を促していく。そして、数学的表現を用いて、資料の傾向を読み取る問題を年度末に取り組みたい。

| 【課題 1】 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|--------|--------------|-----|-----|-----|----|------------------|------------------|
| 学年・方法 | 2年 前期期末試験 | | | | | 1年 H28「基礎・基本」 | 2年 H28「基礎・基本」 |
| 目標値 | 60.0% | | | | | 70.0% | 70.0% |
| 実施後数値 | | | | | | | |

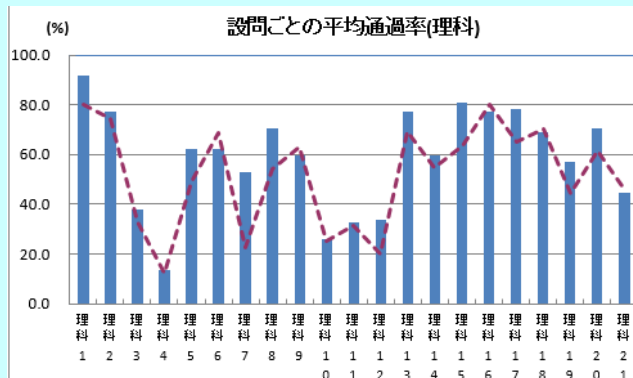
| 【課題 2】 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|--------|----|-----|-----|-----|-------------|----|------------------|
| 学年・方法 | | | | | 2年 実力テスト | | 1年 H28「基礎・基本」 |
| 目標値 | | | | | 60.0% | | |
| 実施後数値 | | | | | | | |

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校58.7%, 県51.8%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



本年度の結果について

○理科の結果において、本校の通過率は、タイプⅠは61.1%、タイプⅡは55.4%、教科全体は58.7%であった。いずれも広島県の平均通過率と比べ高い水準であることから、相対的には基礎的・基本的な内容について定着が図られていると考える。しかし、通過率が30%を下回る生徒が全体の12%おり、それらの生徒の学力定着が課題である。

○昨年度の課題への取組の成果と課題
 昨年度は、「裸子植物と被子植物の花のつくりの違いについての理解」に課題があった(通過率10.9%)。特に、身につけた知識を比較し理解することができなかつたため、反復学習に比較の視点を取り入れた。「日常生活における圧力に関する事象について説明すること」に課題があった(通過率29.7%)。相手に説明する力をのばすため、個人思考、グループ思考の時間を明確にした。

重点課題

- 【課題1】
「机がボールを支えている力を矢印であらわすこと」に課題がある。
(通過率13.5%)
- 【課題2】
「沸点のちがいを利用し、物質をわける操作についての理解」に課題がある。
(通過率25.7%)
- 【課題3】
「通過率30%以下の生徒が全体の12%いる。」

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

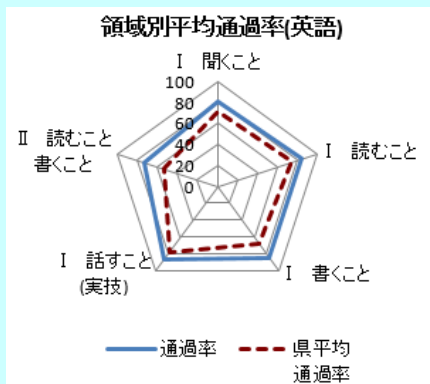
- 【課題1】
あらわすべき力が、何と何の間で、どちらの向きに、どのくらいの大きさではたらいているのか、理解が十分でないため、正しく力をあらわすことができない。
生徒の解答より、力の三要素を矢印であらわす方法については一定の理解が図られているため、力の作図問題に反復的に取り組み、「あらわす力のはたらく点」、「向き」、「大きさ」の三点を中心に正しく理解させていく。
- 【課題2】
沸点のちがいにより、「物質を分けることができること」についての理解は定着しているが、その操作方法を「再結晶」と混同している。ともに物質を分ける操作であるが、その方法や現象は異なることを反復学習で理解させていく必要がある。
- 【課題3】
授業開始5分程度の時間で、基本的な学習内容の定着を図る取組を行う。

| 【課題1】 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|----|-----|------------|-----|--------------|--------------|--------------|
| 学年・方法 | | | 2年生後期中間テスト | | 2年生H28「基礎基本」 | 1年生H28「基礎基本」 | 1・2年生後期期末テスト |
| 目標値 | | | 50.0% | | 60.0% | 50.0% | 70.0% |
| 実施後数値 | | | | | | | |

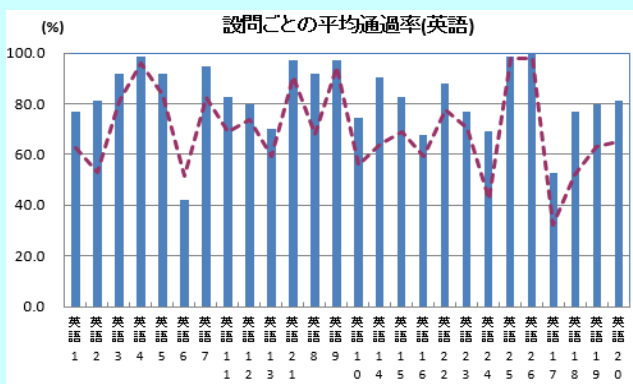
| 【課題2】 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|----|-----|------------|-----|--------------|--------------|--------------|
| 学年・方法 | | | 2年生後期中間テスト | | 2年生H28「基礎基本」 | 1年生H28「基礎基本」 | 1・2年生後期期末テスト |
| 目標値 | | | 60.0% | | 70.0% | 60.0% | 80.0% |
| 実施後数値 | | | | | | | |

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校82.1%, 県69.6%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



本年度の結果について

○全体的な傾向として、タイプⅠの平均通過率が83.8%、タイプⅡの平均通過率が72.6%となっており、基礎的・基本的な内容については定着が図られていると考えられる。一方で、情報を基に中心となる事柄を正確に読み取ったり、それに関連する質問を考え英文を書いたりすることに課題が残っている。

○昨年度課題であった「疑問詞の用法を正しく理解し、簡単な英文を書くこと」(通過率30.2%)や、「疑問詞を用いた問いに対して適切に応答すること」(通過率38.1%)は、計画的な自己表現活動への取り組みやワークシートを活用し、帯学習の中で継続して練習をさせた結果、通過率がそれぞれ74.3%と68.9%に上昇した。

重点課題

【課題1】

・英文を聞いて概要や要点を適切に聞き取り、内容の把握ができていない生徒がいる。(通過率41.9%)

【課題2】

・読むこと・書くことにおいて、情報を基にそれに関連する適切な質問を考え、英文を書くことができていない。(通過率52.7%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

課題1・2ともに、まとまった英文の聞き取りやまとまった英文の読み取り後の英作文に課題がある。ある程度の語数を使って読まれたり、書かれたりしたものを正しく理解することから取り組みを始める。

【課題1】

・会話文や絵の状況説明などについては聞き取ることができている。概要を把握し要点を適切に聞き取らせるために、物語文や時事を取り扱ったニュースなど、生徒の興味関心を引くテーマについての英文を題材に、聞き取るポイントを明らかにしたワークシートを利用し、定期的なリスニング練習を行う。

【課題2】

・疑問文に対する適切な応答は理解できているので、応答を導くための疑問文を作る練習が必要である。それと同時に、長文を読む練習、特に意味のまとめごと英語の内容を把握し概要を正しく理解するため、スラッシュリーディングを取り入れる。

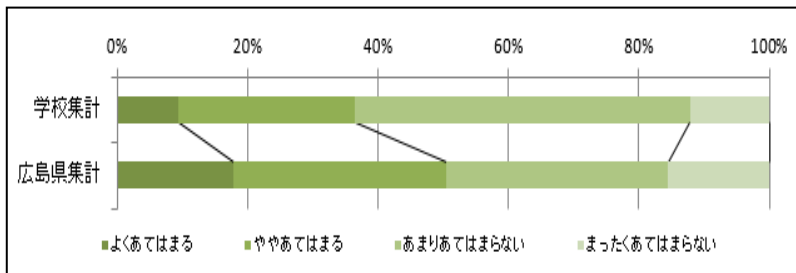
| 【課題1】 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|----|-----|-----------------|-----|-------------------|-------------------|-----------------|
| 学年・方法 | | | 1・2年生 後期中間試験 | | 2年生 H28「基礎・基本」 | 1年生 H28「基礎・基本」 | 1・2年生 後期期末試験 |
| 目標値 | | | 55.0% | | 65.0% | 60.0% | 70.0% |
| 実施後数値 | | | | | | | |

| 【課題2】 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|----|-----|-----------------|-----|-------------------|-------------------|-----------------|
| 学年・方法 | | | 1・2年生 後期中間試験 | | 2年生 H28「基礎・基本」 | 1年生 H28「基礎・基本」 | 1・2年生 後期期末試験 |
| 目標値 | | | 55.0% | | 65.0% | 60.0% | 70.0% |
| 実施後数値 | | | | | | | |

質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：生徒質問紙調査）

(1) 生活・学習

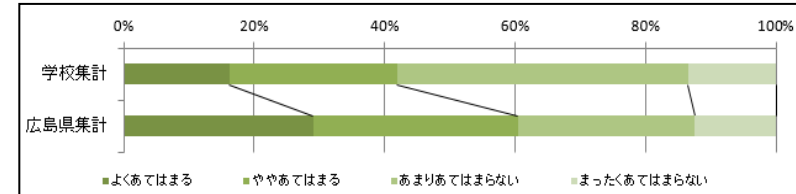
自分で勉強の計画を立てています。



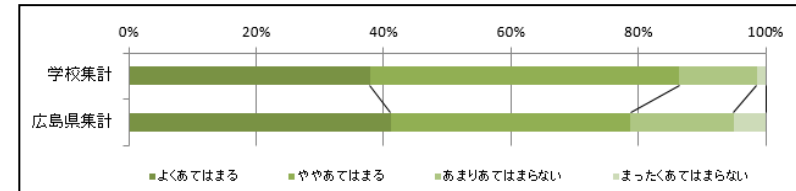
| 生徒の回答についての課題 (現状値) | 今後の具体的な取組の内容 | 学年 | 目標値 | 検証方法 | 検証時期 | 実施数値 | 現状からの伸び |
|---------------------------------|--|---------|-----|---------|------|------|---------|
| 自分で勉強の計画を立てています。 (現状値 36.5%) | 日々のHRや学級懇談において、計画的な学習の必要性や具体的な方法について話をする。また、三者懇談や生徒との個人面談時にも個に応じた指導を行っていく。 | 2 学年 | 60% | 生徒アンケート | 2月 | | |

(2) 教科

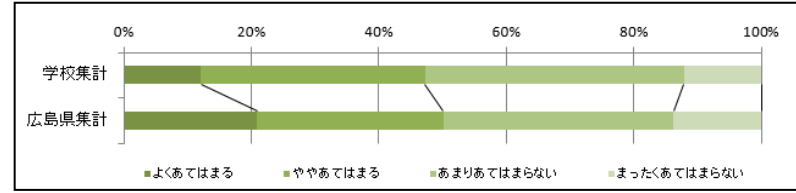
国語の授業では、分からない言葉や漢字は、辞書を使って調べています。



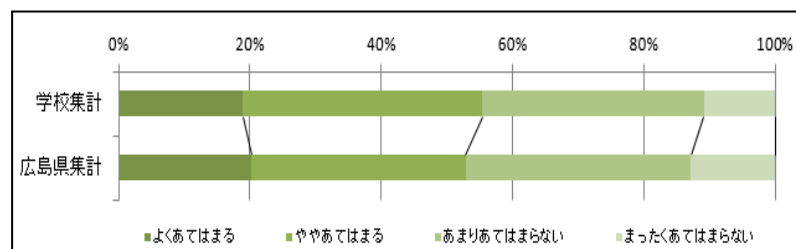
数学の授業では、解き方や考え方を話し合うときに理由をあげて説明しています。



理科の授業では、自分の考えをまわりの人に説明したり、発表したりしています。



英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、メモを取ったり、感想や意見などを話したり書いたりしています。



| | 生徒の回答についての課題 (現状値) | 授業改善の方向性や具体的な取組 | 学年 | 目標値 | 検証方法 | 検証時期 | 実施数値 | 現状からの伸び |
|----|--|---|---------|-----|---------|------|------|---------|
| 国語 | 国語の授業では、分からない言葉や漢字は、辞書を使って調べています。 (現状値 41.9%) | 単元導入時には辞書を準備し、わからない言葉や漢字を確認する時間を確保する。 | 2 学年 | 60% | 生徒アンケート | 2月 | | |
| 数学 | 数学の授業では、解き方や考え方を話し合うときに理由をあげて説明しています。 (現状値 37.8%) | 証明の単元を学習する際に、根拠や理由の必要性を理解させ、数学的表現を用いて説明する活動を行う。 | 2 学年 | 70% | 後期期末試験 | 2月 | | |
| 理科 | 理科の授業では、自分の考えをまわりの人に説明したり、発表したりしています。 (現状値 47.3%) | 個人思考の場面、グループ思考の場面をそれぞれ明確に設定し、自分の考えを明らかにするとともに、それをグループ内で発表させることで自信を深めさせる。 | 全 学年 | 60% | 生徒アンケート | 2月 | | |
| 英語 | 英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、メモを取ったり、感想や意見などを話したり書いたりしています。 (現状値 55.4%) | 英文を読んだり聞いたりするときに、5W1Hを意識させ、内容の項目についてメモを取る習慣をつけさせる。内容についての感想や自分の意見を、まずは書いて自己表現させ、話して表現する活動につなげていく。 | 全 学年 | 60% | 生徒アンケート | 2月 | | |